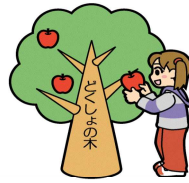


本のひろばより 2018年 3月号

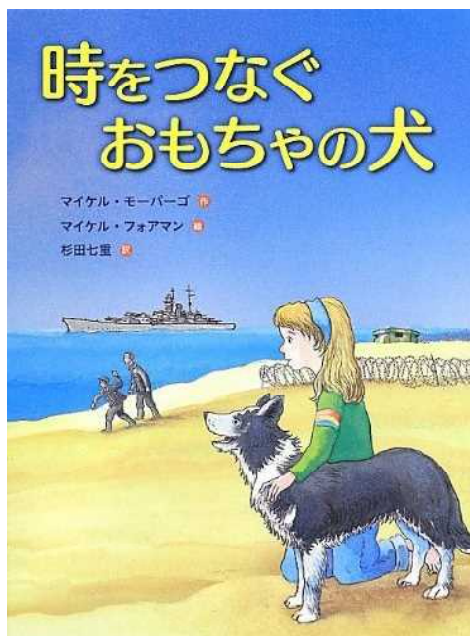
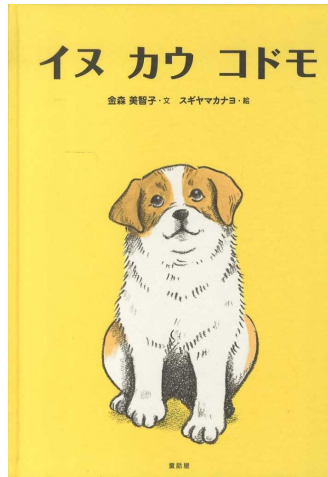


藤沢市立高砂小学校
学校図書館専門員 菅 利恵

図書委員会によるブックトーク

本のひろばはワンダフル！ イヌ年なので犬の本

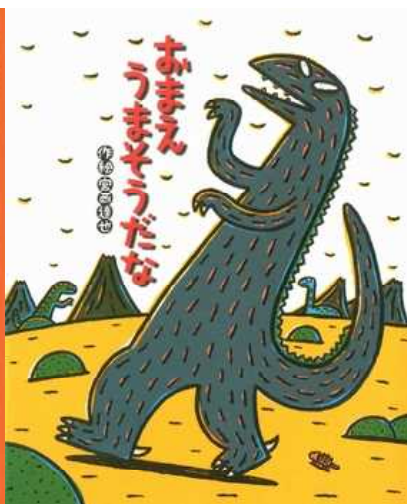
2月の全校朝会で、5・6年6クラスの図書委員がリレー形式でブックトークをしました。前期は「動物」でしたが、今年はイヌ年なので「犬」の本を6冊紹介しました。



前期は低・中学年を中心に盛り上がりましたが、後期は高学年向けの文学もとりいれました。その中でもぜひ読んでほしいのは、最後のマイケル・モーパーゴ作『時をつなぐおもちゃの犬』です。この本を選んだ5年生図書委員は、さし絵や本文を紹介しながら、こうしめくくりました。「ぼくたちは、戦争のもたらした悲劇と同時に、人と人の絆を強く感じました。せつないほどあたたかい物語です。」

～本のひろばでの読み聞かせの本いろいろ～

①辻堂図書館見学から2冊



1月に2年生の図書館見学にいっしょに行ったとき、職員の方が館内の案内だけでなくお話会もしてくださいました。そこできいた2冊を、私も本のひろばで、1年生に向けて読んでみました。「おまえうまそうだな」の大型本は辻堂図書館から借りて来ました。どちらも、「読み継がれていく絵本」だと感じました。

↑ 1はウラパン 2はオコサ
3は？……

↑ ぼくのなまえ、
うまそう、なんでしょ？

②英語や音楽も楽しもう！（12月号の続き）

きょうはみんなでクマがりだ
We're Going on a Bear Hunt

マイケル・ローゼン 西語

ヘレン・オタセンバリー 絵
山口文生 訳



↑ 「チャプチャプチャプ！」

今までも日本語版を読み聞かせしていましたが、新しい英語版にはCDが付いていて、英語と日本語が交互に出てきます。たとえば、みんなで川をこえていく場面では、“Splash Splash Splash！”「チャプチャプチャプ！」と続きます。本には書いていない犬の声や効果音も入っています。英語の文章だけ見たときには小学生には難しい、と感じたのですが、CDをきかせてみたら、1年生が一番楽しそうでした。「もう一度ききたい！」と言って、二度目は日本語に合わせて歌うように声を出していました。担任の先生も「おもしろいですね。」と、メモをとっていらっやいました。

英語絵本を読書活動にどうとりいれていくかは、私にとってはまだ試行錯誤の段階です。発音には自信がないので、CDを利用したり、学校にいらしているFLT (Foreign Language Teacher) に聞いたりしています。本にはいろいろな楽しみ方があるので、その本の持つ魅力を生かせるようにこれからも工夫していきたいと思ひます。

